

料金後納
ゆうメール

細い山道をくねくねと登っていくと、少し視界の開けた山の上に壺田和宏さんと亜矢さんの暮らす家と窯場が見えてくる。宮崎県の北端部にあり、九州の名峰 阿蘇山と連なる地域である。草原のような庭には、景色の一部と化した壺や器がごろごろと置かれ、周りを山羊や烏骨鶏が闊歩する。ああ、この環境そのものから壺田ご夫妻の器が生れているのだ、と実感する時である。

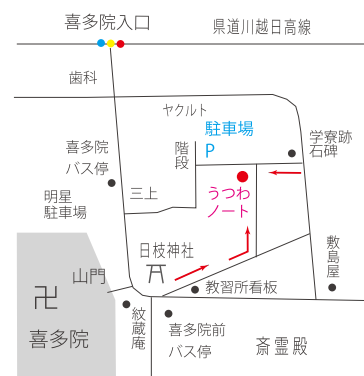
愛知県立芸術大学で陶芸を学んだ同級生であり、卒業後は瀬戸に近くに窯場を作り、また伊賀でも製作をしていた。いわば日本を代表する窯業地がスタートラインである。しかしどちらの場所も外的事情によって移らざる得なくなり、それゆえに宮崎県高千穂町に辿り着いた。もう誰にも邪魔されたくない土地、自分達で築く暮らしを求めた結果である。

大地に溶け込むように、窯の中で熱と重力を受けたゆったりとした形の壺。土を焼いた自然な質感の皿や鉢は、料理を銜いなく享受する。そう作り手の能動的意識が先立つよりも受動的寛容性が魅力なのだ。きっと土とか焼き方とか技術だけではなくて、大地と繋がる生き方そのものがこれを成すのだ。

山暮らしから分断されお澄ました川越の店内で、どれほどこの実感が伝わるかわからぬが、手にすれば感じて頂けると思う。本格的な春と共に お出掛け頂きたい。
店主

壺田和宏 1972年 三重県伊賀市生まれ
壺田亜矢 1972年 愛知県安城市生まれ

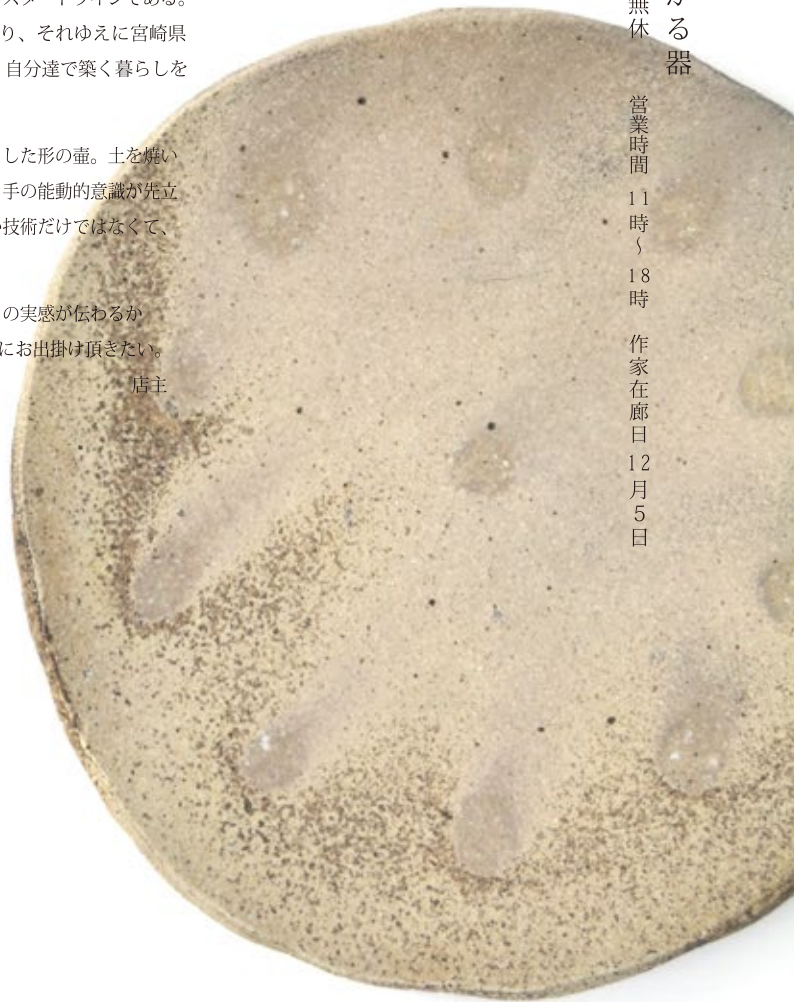
1995年 愛知県立芸術大学陶磁専攻科卒
1995年 愛知県長久手町に築窯
2000年 三重県伊賀市に築窯
2009年 宮崎県高千穂町五ヶ所に移住
2020年 現在、同地にて制作



電車：川越駅(東武東上線・JR)より徒歩25分
本川越駅(西武新宿線)より徒歩20分
バス：駅東口3番乗場 [小江戸名所めぐり] ~ [喜多院前]
駅西口2番乗場 [小江戸巡回バス] ~ [喜多院]
車：ギャラリー専用の新駐車場は北側(5~8番)

壺田和宏・壺田亜矢展 大地と繋がる器
2020年12月5日(土) ~ 13日(日) 会期中無休

営業時間 11時 ~ 18時
作家在廊日 12月5日



壺田和宏・壺田亜矢展 大地と繋がる器
2020年12月5日(土) ~ 13日(日) 会期中無休

ギャラリー うつわノート

埼玉県川越市小仙波町1-7-6
TEL 049-298-8715
MAIL utsuwanote@gmail.com

GALLERY
うつわノート

